

諫早市教育委員会議事録

平成30年第13回（12月定例）

平成30年第13回（12月定例）教育委員会

1 日 時 平成30年12月21日（金） 14時00分～15時10分

2 場 所 諫早市役所 7階 7-1会議室

3 出席者 教育長 西村 暢彦
委 員 緒方 正親
委 員 秀島 はるみ
委 員 大石 竜基
委 員 宮本 峻光

4 会議に出席した事務職員

教育次長	井上 良二
教育総務課長	田島 正孝
学校教育課長	福元 英典
生涯学習課長	藤山 誠治

5 議題

報告第10号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成30年度諫早市一般会計補正予算（第4号）」中、12款教育費））

議案第16号 平成31年度県費負担教職員人事異動方針について

議事録署名人の指名

大石委員と秀島委員を議事録署名人に指名

議事録の承認

- 平成30年第12回（11月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

1 教育長の報告

○ 頌徳祭について

11月23日（勤労感謝の日）、頌徳祭が諫早小学校の横ふれあい体育館で行われた。土橋貞恵（つちはし ていけい）先生、福田渭水（ふくだ いすい）先生の教育へ大きな功績を残されたことへの感謝を込めて、保護者が中心となり実施されている。諫早小学校の前身である『好古館』へ、二人とも多大な貢献をなされた。

○ みはる台小学校PTAの文部科学大臣表彰報告について

みはる台小学校PTAが文部科学大臣表彰を受賞され、11月28日に市長、教育長への報告が行われた。諫早市では、19年前の上諫早小学校以来の受賞である。

○ 12月定例市議会について

12月定例市議会が11月30日に開会、一般質問が12月5日から行われた。教育委員会への質問としては、「旧給食センターの現況と有効活用について」は、森山と飯盛の旧給食センターについての質問であり、まずは教育施設として利用できないか検討している旨の答弁をした。「諫早公園の周辺整備・歴史街道について」の質問は、諫早の文化・歴史的な財産をもっと活用しようということで、一つ目は諫早公園の活用方法と頂上にある大楠についての要望であり、二つ目は、大村街道をもっと整備して活用しようとの要望であった。そのほか、「デジタル教科書の活用について」、「子育て支援の充実に関して、学校施設を利用して『こどもの城』の出城みたいなものがないか」といった内容、「琴海中学校の生徒の通学対応について」、「就学援助の認定基準に

ついて」、「健康増進法の改正に伴う学校における喫煙の状況について」、「市民センター講堂の天井の剥落と雨漏りの対処について」の質問があった。

○八江学芸祭について

12月23日に、八江学芸祭が諫早文化会館で行われる。諫早市の産業や芸術文化の振興など、まちづくりに多大な貢献をなされた八江正吉（やえ まさよし）氏のご遺族である八江正光（やえ まさみつ）氏から、文化振興に役立つようにと多額のご寄附をいただいております、今でも八江グループからの支援が続いている。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

学校の受動喫煙について、国もそうだが、場所さえ分ければいいといった考え方のようである。よく問題になるのが、喫煙をした後15分から20分ぐらいは、その人の吐く息や洋服から有害成分がでてきているということで、10分ぐらいの休み時間に先生たちがたばこを吸いに行った後に授業に入ったら、受動喫煙になる。そういうことが受動喫煙の問題として議論されているかどうか。

[教育長]

今回の議員の発言でも吸い終わった後のことも考えないといけないということ言われていた。現場の教職員がそういったことを自覚することから始まり、どう対策するかということになるだろうし、基本的には敷地内禁煙に向かっていくことが当然だろうと思う。

[委員]

市民センターについて、文化会館も同じだが、椅子の劣化が酷くなっているようだ。

2 教育次長の報告

○平成30年度一般会計款別内訳について

《教育次長の報告に対する質問・意見》 なし

《 議 事 》

- 1 報告第11号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成30年度諫早市一般会計補正予算（第4号）」中、12款教育費））

教育総務課長、生涯学習課長 説明

質問・意見 なし

了承

2 議案第16号 平成31年度県費負担教職員人事異動方針について

学校教育課長 説明

[委員]

再任用については、年齢の上限とかはあるのか。

[学校教育課長]

年金の支給開始年齢で変わってくるが、今の年代は62～63歳ぐらいまで再任用ができるようになっている。

[委員]

英語教育で、小学校も中学校も先生が英検2級程度をとっておいてほしいといわれているが、そういった面で新規採用、再任用など考慮されるのか。

[学校教育課長]

新規採用教職員については、英検などある程度の資格を持っていれば点数が加点されるので、採用の際には有利になる。

[委員]

中学校の英語の先生でも英検2級を持たない先生もいるそうだが。

[学校教育課長]

県教委としても、試験を受けてもらうよう進めており、かなり取得ができてきているようだが、まだ、持っていない先生もいるところである。

[委員]

日本の制度では、給料とかの評価の方には反映されない。個人の意思で資格を取りに行ってもなかなか評価してもらえないので、積極的に取りに行く人が少ないのではないかと思う。

[委員]

今の意見に似たようなことで、教頭の志願者が少なくなっているようだが、全体的に給料が上がってきて、管理職との差がそこまでなく、かつ、校長、教頭の仕事と責任が大きすぎるから、このままでいいという人が多いのではないか。管理職と一般職との差はそれなりにないと、特に今の時代は何か事案が起こると責任を取らされることとなるので、なり手が少なくなるのは必然である。働き方改革で、教頭の仕事を軽減してなるべく負担を軽くしてやろうとしているが、それが子どもたちにとってプラスなのかマイナスなのか、本末転倒に感じることもある。

[委員]

校長、教頭の評価は誰がするのか。

[学校教育課長]

教頭の評価は、校長と教育委員会がする。校長の評価は教育委員会がする。

原案どおり可決

《教育総務課長の報告》

○平成30年度学校給食交流会について

《生涯学習課長の報告》

○平成31年諫早市成人式について

対象者 男：619名 女：688名 計：1,307名

[委員]

対象者は、今年よりも減っているのか。

[生涯学習課長]

今回は増えているが、近年は、減少傾向にある。

《学校教育課長の報告》

○教職員の人事異動について

その他

教育総務課長

○定例教育委員会の日程について説明

15時10分閉会